

コロナ禍での高校選び



6月から学校が再開され、中学校では7月より学校説明会等を実施し、中学3年生に対して進路実現に向けて本格的なスタートとなりました。5月頃から私立高校がオンライン説明会を実施したり、7月よりオープンスクールを実施したりする高校もありました。県立高校は、段階的な再開の関係で9月より学校説明会を実施することになります。本校でも9月27日(日)に、関内ホールで開

催される学校説明会を皮切りに、本格的な高校入試の広報活動がスタートします。本校の学校説明会は、例年なら申し込みが不要でした。しなしながら今年の学校説明会は、新型コロナウイルス感染防止のため、参加を希望される場合事前申し込みが必要となります。

例年なら、この時期に3者面談等をとおして志望校を決めていく時期だと思えます。しなしながら、今年は3ヶ月にも及ぶ休校の関係で、各中学校は夏休みの短縮、土曜授業の実施など、学習の遅れを取り戻すための方策を行っています。また、6月の公立高校展、夏休み期間中の各地区公私合同説明会が中止され、なかなか志望校を決定するための情報を得ることができないでいると思えます。

本校ではホームページや学校案内、チラシ、校長通信『清陵』などで本校を知っていただけたらと思っています。本校の学校案内は7月末に出来、8月より玄関窓口にありますので、来校していただければお渡ししています。8月15日(土)、8月16日(日)の両日(配付時間10時~15時)には、学校案内以外、校長通信『清陵』などの配付も行います。ただ、新型コロナウイルス感染防止の対策のため、来校には必ずマスクを着用していただき、中学生本人のみとさせていただきます。当日配付される校長通信『清陵』は、毎月1回以上、本校生徒向けのA版と、中学生・中学生の保護者、中学校関係者、塾関係者など向けのB版で発行されています。既に90回以上発行されています。内容は本校の方針や取り組みを理解していただくだけでなく、高校受験、学校選択など、中学生やその保護者に向けたメッセージも記された広報誌です。特に中学生からは、本校を志望する上で貴重な資料となるという声をいただいております。



この『清陵』のバックナンバーを読みたいという声にお答えして、本校のホームページから閲覧、プリントアウトすることもできます。本校のホームページから閲覧する場合は次のとおりです。

y-seiryu-h.pen-kanagawa.ed.jp で本校のホームページに入り⇒校長室より⇒校長通信

志望理由を考えるにあたって、その学校ならではの志望理由を考えるべきです。志望理由が強ければ強いほど、受検勉強や面接練習にも頑張れるのではないのでしょうか。

7月31日の全校集会における校長の話！

生徒の皆さん、こんにちは！ 校長の田中です。今回はコロナウイルス感染防止のため、放送での全校集会になりました。

2月27日、安倍首相の休校要請から3ヶ月間休校となりました。6月1日に学校が再開されましたが段階的な再開となり、7月13日に時差通学による通常登校となりました。いま生徒たちの声が聞こえ、笑顔の見える学校になり、少しずつ日常の学校生活を取り戻してきています。しかしながら、最近の日本全国の感染者数は増え続け、いつ緊急事態宣言が発せられてもおかしくない状況です。いまや職場内、学校内の感染が増え、さらに家庭内感染も増えています。昼休みや下校時に放送で流しているように「マスクを外しての会話」は厳禁です。いまや自分の身は、自分で守る必要があります。ウイルスと闘っていても、見えないウイルスは忍び寄ってきます。一国の首相や大統領、健康管理に気を使っている一流スポーツ選手でさえ感染しています。皆さんもくれぐれも健康管理には努めてください。

校長も30年間教員生活を送っていますが、今回のような事態は初めての体験です。いままで、2009年の豚インフルエンザで修学旅行の団長として高熱を発する生徒の対応、2011年の東日本大地震での対応、2019年の台風15号時に学校に泊まったの対応などを経験してきました。今回は初めての体験ですが、いままでの経験を活かしながら対応しています。

今年度は体育祭、文化祭も中止になり、部活動では全国大会、予選、地方大会も中止になったものが多かったと思います。この1年は通常の高校生活を送れず、残念な気持ち、悔しい思いを持った生徒は少なからずいると思います。コロナと闘い、コロナと共生する社会、先が見えず、不安や焦りを感じ、自分で切り開けない、コントロールできず、フラストレーションや挫折感を味わった生徒は少なくないと思います。長くて暗いトンネルのなか、自ら道標(目標)を決め、少しでも光の見える方に歩むだけです。無理せず光明のある方に歩くのです。そして生きて行くことが、いつか「令和2年は、凄い年だったなあ…」と振り返ることができるのだと思います。

最後に、今週は「ともに生きる社会かながわ推進週間」です。いまから4年前、平成28年7月26日、津久井やまゆり園で19人死亡、27人負傷という大変痛ましい事件が起こりました。この事件を受け、本県では「ともに生きる社会かながわ憲章」が制定されました。本県のホームページに記されていますので、是非、一度見てください。私たちは人々の人権を尊重し、共生社会をつくり、共に支え合って生きていかなくはなりません。例えば、街中で困っている人がいたら「何かお困りでしょうか」と声を掛けてみてください。先日、学校にある方からお電話をいただきました。その内容は、本校生徒が自分の子どもが泣いているので声を掛けてくれ、子どもが落したものを一緒に探してくれ、自宅まで子どもを連れてきてくれたことへの感謝のお電話でした。このように清陵高校は、これからも地域や県民の人たちにも信頼、愛される学校であり続けましょう。

明日から短い夏休みです。本来、夏休みは日頃、体験できないことを体験することができる日々です。今年はコロナ禍ですので、なかなか遠くに行くこともできないと思います。3週間後に、皆さんの元気な顔を見ることができるとを願っています。以上